

行列が途切れず、人気の高さを示した沖縄県内出展のブース＝名古屋市のナゴヤドーム（沖縄グローバルインキュベーション提供）



ナゴヤドームで

うまいもんワールド

【名古屋】「ドームうまいもんワールド」（主催・同実行委員会）が20、23日の間、名古屋市のナゴヤドームで開かれた。県内からはNPOの支援を受けた恩納村の業者らが参加、沖縄素材を生かした産品を名古屋の消費者にPRした。島マンゴー

島マンゴーカレーパン／もずく肉まん

沖縄素材の産品PR

カレーパンは、取引の商談も進むなど成果も上がった。

会場には全国各地から320のブースが並び、主催者によると4日間で13万4千人余が詰め掛けた。

瑞泉酒造、石垣市のan石垣シェラート、愛知県内の沖縄料理華花が出店。恩納村からは、NPO沖縄グローバルインキュベーション（那覇市、喜友名光彦理事長）の支援を受け、村漁協やレストランなどが島マンゴーカレーパン、もずくコロッケ、もずく肉まんなどを売り込んだ。

NPOの中心として活動する岡田純氏（ダイレクトプランナーズ代表取締役）は「沖縄の素材に対する大都市圏消費者の潜在ニーズは高く、必ず売れる。しかし従来の手法では販路拡大は進まない。販売効率向上のための業者間取引のビジネススキルの習得も必要不可欠だ」と語った。